

## 平成 22 年度埼玉大学卒業生の皆さんへ

埼玉大学を卒業される学部生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、ご家族の方々とともに、今日という日を心待ちにしてこられたことと存じます。

本来なら、本日平成 22 (2010) 年度埼玉大学卒業式を挙げる所ですが、このたび東北地方を襲った大震災並びに現下の諸事情に鑑み、式典を中止して、各学部において卒業証書の授与を執り行うことになりました。皆さんにとって晴れの舞台である卒業式をこのような形に変更せざるを得なくなったことは、埼玉大学としても残念ではありますが、なにとぞご理解いただくようお願いいたします。

いま、日本は、大震災に加えて原発事故が重なるという、未曾有の地球史的問題に直面しています。地震と津波の犠牲となられた方々には、お悔やみの言葉さえはばかれる思いですし、原発事故については、安全に収束することを願うしかないもどかしさがあります。

今回の大惨事の状況は、科学の限界や人間の力のはかなさを否応なしに感じさせる出来事であります。広島・長崎・ビキニ環礁での被爆を体験し、世界に対して、二度とこのようなことを起こさせないことを宣言したこの国、日本で、日本人の手で作った原子力発電所の事故により放射能汚染の恐怖にさらされる日が続いているということは、何とも歯がゆく、悲しいことでもあります。

しかし、発生した大きな問題の解決は、やはり、科学の力と合理的な思考によってなされなければなりません。加えて、今こそ、自分一人だけの利益、自分一人だけの幸福のために活動するのではなく、みんなが悲しみを分かち合い、幸福を分かち合う、そういう人間的な関係性を発揮しなければなりません。その営みはずでに始まっています。

卒業生の皆さん。私は、皆さんがこういう状況の中で卒業していく意味をしっかりと心に刻み、それぞれの新しい仕事と生活の現場において埼玉大学で身につけた力を存分に発揮して、安全で、安心して暮らせる日本社会の復興・形成に貢献されることを心から期待いたします。

平成 23 年 3 月 24 日

埼玉大学長 上井 喜彦